

サツキヒナノウスツボ

Scrophularia musashiensis Bonati
ゴマノハグサ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育地が限定され、個体数も少ない。本県を分布上日本海側の西限としている。

分 布

本州（関東地方西部、中部地方）に分布する。県内では嶺南地方で確認される。

種の特徴

山地の沢沿いのやや明るい林縁に見られる多年生草本。普通4月末～5月にかけて開花し、葉脈から1～3個の花がついた細長い花序をだし、花冠大きくて長さ9～11mmあり、朔果は卵状球形である。

生育を脅かす要因

森林伐採、自然遷移が生育を脅かす要因となる。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
	○																○	

ジュウニヒトエ

Ajuga nipponensis Makino
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

道路拡張、法面保護等による生育環境の消失や悪化のほか、園芸目的の採集等により絶滅が懸念される。

分 布

本州、四国に分布。県内では嶺北地方の一部で確認されている。

種の特徴

やや乾いた山麓部に生える多年草。茎は株から数本束生し、高さ10～25cm、全体に長い白毛が多い。葉は2～4対あり、長さ3～5cm、幅1.5～3cm、基部は狭くなり翼のある葉柄となる。4～5月頃、茎の先に長さ4～8cmの花穂を出し、淡紫白色の多数の花が付く。

生育を脅かす要因

土地造成、道路工事等による生育環境の消失や悪化。山野草マニアによる園芸目的の採取。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市	
							○										○	

シモバシラ

Collinsonia japonica (Miq.) Harley
シソ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種であり、近年、ほとんど見られなくなっている。

分 布

本州（関東地方以西）～九州に分布。県内では嶺北地方の一部及び嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

山地の木陰に生える多年草。茎は高さ40～70cm。葉は長楕円形で長さ8～20cm、幅3～5.5cm、短い葉柄があり、表面の脈上に細かい毛がある。9～10月頃、一方に偏った白色の花を付けた総状花序を葉腋から出す。

生育を脅かす要因

森林伐採、道路工事等による生育環境の消失や悪化。

参考文献 佐竹義輔ほか（1981）、福井県自然保護課編（2004）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○										○					